

世界禁煙デー (World No Tobacco Day) にちなんで



沖縄大学 人文学部教授 山代 寛

はじめに

沖縄県は「2040年までに平均寿命日本一を取り戻す」ことを宣言しました。生活習慣予防など県医師会はその中で重要な役割をになっています。私も沖縄県から県医師会が請け負った次世代健康教育事業の生活習慣の副読本づくりにかかわらせていただきましたが、健康教育は社会全体で考える事が重要だと痛感し、特に食の教育の重要性について目が開かされました。手前味噌で恐縮ですが沖縄大学は来年創立60周年を迎え大きく変わろうとしています。なかでも沖縄県と協働で「長寿社会沖縄」の復活を目指しての沖縄県唯一の管理栄養学科の開設(2019年4月予定)はその大きな目玉です。今年度から副学長となりますが、与えられた大きなミッションはこの新学科を皆様のお役に立つものに創っていくことです。沖縄県健康長寿復活のために臨床に強い栄養士・管理栄養士を送り出していきたいと思っています。会員の先生方には新学科の研究教育体制、実習や就職等々に対し、ご理解ご協力を賜りますようこの場を借りてお願い申し上げます。

受動喫煙対策法案について

さて、食の重要性が注目される一方で、健康長寿実現のために喫煙対策が重要課題の一つであることは論を待ちません。世界禁煙デー(5月31日)にちなんで先生方にぜひ力をかしていただきたいことがあります。

受動喫煙防止対策をめぐって、2020年の東京オリンピック・パラリンピックが開催するにあたり厚生労働省が昨年10月、大勢が利用する飲食店などの建物を原則禁煙とする罰則付き受動喫煙対策法案の「たたき台」を発表しました。これに対し自民党内に強い反発があり、法案が骨抜きにされようとしている状況下、日本医師会が例外規定を設けない厚労省の当初案を支持しているのは大変心強いとおもいます。日本禁煙学会による原案賛成の署名サイトもあります。

みんなの1票で救える命を救おう！
**「私たちは受動喫煙対策
厚生労働省の原案に賛成します！」**

左のQRコードを読み込んで
『今すぐ賛成』ボタンから投票をお願い致します。今こそ皆様のお力が必要です。
宜しくお願いします。

主催：
日本肺がん患者連絡会／日本禁煙学会

<https://goo.gl/q6ueYL>

タバコ産業の利益よりも国民の命を救うことが選ばれるように多くの方の署名を期待いたします。

日本医師会の小冊子について

例外を設けることなく受動喫煙防止対策を進めるには、受動喫煙により被害を受ける国民全体で問題意識を共有し、一丸となって取り組む事が必要という考えのもと、本年3月、日本医

師会が受動喫煙対策啓発の小冊子を作成したのをご存知でしょうか？



http://dl.med.or.jp/dl-med/teireikaiken/20170322_1.pdf

冊子の中で、大切な家族や周りの人たちを受動喫煙から守る唯一の手段である禁煙は「愛の証」だと強調しています。会員の皆様の手によりぜひとも広めていただきたいと思います。

新型タバコについて

その冊子の中で新型タバコについてふれているコラムを引用します。
『最近、煙が出ない新しいタイプのタバコが登場しています。その一つが加熱式電子タバコです。タバコの葉を電気で加熱して蒸気を発生させ、ニコチンを吸い込むものですが、日本禁煙学会によると、紙巻きタバコと同様に依存性があり、発がん性物質を含む有害物質を含んでいることが指摘されています。健康被害の評価もこれからであり、安全性が証明されたものではないことを知っておきましょう。』

新型タバコは害が少なく受動喫煙被害もないと誤認されていますので、コラムに取り上げていただいたことに感謝しています。

加熱式タバコの出現で禁煙外来受診者が3割減ったという調査結果があります。上記誤認により禁煙の機会が奪われたタバコの被害者がそれだけいるということを意味すると考えます。加熱式タバコは「愛の証」でなく「偽りの愛」です。コラムにあるように加熱式タバコについては紙巻タバコと同じように依存性があり発癌性物質が検出されていることを強調しておきたいです。新型タバコがニコチン依存症治療の妨げになってしまう、それこそがタバコ産業の戦略なのですから、タバコ産業はタバコをやめさせないためにありとあらゆる手を尽くしているということを肝に銘じておく必要があります。医療従事者もだまされないようにいたしましょう。

世界禁煙デーにちなんで

世界禁煙デーの直近の土曜日に開催している沖縄ニコチン依存症研究会ですが、8回目となる今年は6月3日に開催します。今年は沖縄大学地域共創の取り組みの一環として一般市民に向けてひろく参加をよびかけています。国の受動喫煙対策の先行きが見えない中で、社会全体の意識を変えていくことが重要だからです。今年は、ちばなクリニック清水隆裕先生による新型タバコについての解説と、受動喫煙対策を推進させている調布市の仕掛け人、鈴木隆宏先生に医師会、行政、市民の協働のノウハウを講演いただきます。沖縄を、より多くの人が幸せに暮らせる地域に変えていきたいと思うみなさま是非連れ立って 6月3日 19時 沖縄大学においで下さい！！

連絡先 yamasiro@okinawa-u.ac.jp